まちかどトピックス

地域の催しや明るい話題などがございましたら、気軽に広報係までご連絡ください。
☎43・5002(秘書広報室)

県知事を囲んで、だんじり唄の振興を語る

「さわやかトーク」が三原公民館で開かれる

▲朗らかに井戸知事と語り合うだんじり唄グループのメンバー

兵庫県知事と地域で活動している実践活動グループが、自由に意見を交わし、地域づくりについて話し合う「さわやかトーク」が九月三日、三原公民館で行われ、三原だんじり唄保存会青年部（小林健司代表）十四人が井戸敏三知事と語り合いました。

グループはまず、知事にだんじり唄を知ってもらおうとだんじり唄、「玉藻前旭の袂三段目　道春館の段」を熱唱。その後、ひざを突き合わし、だんじり唄の現状や課題、将来性などについて、笑い話も入り混じりながら、終始なごやかな雰囲気の中、意見を交わしました。

知事は「だんじり唄が現在も伝承され、盛んに唄われていることに感激した」と感想を述べ、グループメンバーからも「継承・発展させていくには後継者の育成がカギを握っている」などと知事に話しました。

災害時に備え、土のうづくり訓練

福良地区防災訓練

地震や台風などの災害などに備えようと、「福良地区防災訓練」（福良まちづくり推進協議会主催）が九月四日、波戸の浜公園で行われ、地区の住民約二百七十人が参加しました。

昨年の台風時には、同地区の多くの家屋で浸水被害を受けました。このことを受け、今回は、土のうづくりを中心に訓練を行いました。

土のうづくりでは、市役所防災担当課職員から作り方の指導を受け、約二時間で千七百個を作成しました。また婦人会による炊き出し訓練なども行われ、二百五十個のおにぎりが作られました。

芝壽浩同協議会長は「災害時に住民が助け合い、円滑に避難できるように、避難経路や独居老人の世帯の調査も行っていきたい」と語られました。

▲手際よく土のうを作る住民たち

いつまでも健康で長生きしてね

市内各地で敬老を祝う催し

市内4か所で敬老会

九月十九日・敬老の日、市内の高齢者のご長寿を祝い、緑市民センターと御原中学校、三原健康広場、文化体育館の四会場で敬老会式典が開かれ、約二千五百人の方が出席されました。

中田市長は「南あわじ市の発展には、これまでさまざまな経験をしてこられた皆さま方の力が必要です。これからも元気でいてください」とお祝いを述べ、最高齢者と金婚夫婦に表彰と記念品を贈りました。

また、式典後にはアトラクションがあり、和太鼓やだんじり唄、カラオケ、子どもたちのダンスなどが繰り広げられ、会場を盛り上げていました。

▲金婚夫婦を祝い表彰（西淡会場）

市長の表敬訪問

九月二日、市長が敬老のお祝いメッセージを伝えようと、市内在住の百歳以上の高齢者九名の方の自宅などを訪問しました。

一〇三歳を迎えた佃きみのさん宅（賀集）では、中田市長から「明治、大正、昭和、平成の激動の時代を乗り越え、長寿の道を歩んでこられたことを、心からお喜び申し上げます。長年に亘り社会の発展に寄与してこられたことに敬意を表します」とお祝いを述べました。

佃さんからは「家族を始め、地域の方々などから大切にしてくれている。高齢者にとってありがたい時代です」と喜んでいました。

▲市長の訪問に笑顔で迎える佃さん

祖父母との集い

市内の全保育所（園）で九月、高齢者の方とふれあいの機会を持とうと、「祖父母との集い」が行われました。

倭文保育園では、園児五十九人がよさこい踊りや体操、歌を披露して祖父母らを歓迎。また、一緒にゲームをしたり、童謡を歌ったりと楽しみました。参加した祖父母らは「孫と触れ合えてうれしかった」と喜んでいました。

▲祖父母とゲームをして遊ぶ園児たち（倭文保育園）

綱引きで全国大会へ

綱引きチーム・飛翔会の皆さん

綱引きチームの飛翔会（中尾隆太代表、メンバー14人）が10月1日～3日に岩手県で行われる「全国スポーツ・レクリエーション祭スポレクいわて２００５」の男女混合綱引に出場します。

同チームは1月23日に加古川市で行われた県綱引選手権大会で全勝優勝し、出場を決めました。また、8月21日に大阪・舞洲アリーナで行われた「おおさかシティ全日本選抜綱引大会」男女混合の部にも出場し、優勝しています。

▲9月16日、中田市長から激励を受ける飛翔会の皆さん

おめでとう

船木茂浩さんマスターズサッカー全国大会出場

▲船木茂浩さん

船木茂浩さん（松帆）が九月二十三～二十六日に富山県で行われた「日本スポーツマスターズサッカー競技大会」に兵庫県代表選手として出場し活躍されました。

サンプール水泳教室所属の打越雅美さんが全国優勝

▲打越雅美さん

サンプール水泳教室所属の打越雅美さん（洲本市）が八月二十七日に東京で行われた「ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会」の十八歳以下・四百メートル個人メドレーで金メダルを獲得しました。

観客を魅了した迫力の唄声

第10回南淡路だんじり唄交流会

▲唄を披露する三原だんじり唄保存会新青年部

だんじり唄愛好グループが唄を披露し、交流を図る「第10回南淡路だんじり唄交流会」が、8月28日に賀集公民館で行われました。

参加した高校生や女性、青年など11グループは平家物語や忠臣蔵を題材としただんじり唄を次々と披露。感情のこもった迫力ある唄声に、観客から大きな拍手が送られていました。小林健司実行委員長は「回を重ねるごとに参加団体が増え、地域の文化を通じて和が広がっていると実感している」と話されました。

市内在住の高校生、全国大会に出場

（敬称略）

▲上段左から豊田先生（洲本）、小泉、中田市長、竹渕、敷田先生（洲実）、川野助役
下段左から原、奥田、稲本、服部、中田

▲清水晶也

▲齋藤愛佳

◆インターハイ
▽ボート・ダブルスカル：齋藤愛佳（柳学園高校）＝三位、竹渕直哉（洲本実業高校）▽ボート・クオドルプル：中田百香（洲本高校）＝五位、清水晶也（柳学園高校）▽陸上競技・女子百メートルハードル：服部愛美（洲本高校）＝七位▽ソフトテニス：小泉正人（洲本実業高校）

◆全国高等学校総合文化祭・日本音楽部門
奥田章子（洲本高校）、原由真（同）

◆女子高校生によるユースフォーラム全国大会
稲本明子（洲本実業高校）